

では150万人(同2)74万1000人(前) 輸送人員のピーク 妻典子さん



健康編

7

緑内障について教えて

- ① 緑内障は視神経に障害が起こり発症する病気で、気付かないうちに進行する場合があります。
- ② 眼圧を抑制することが治療のポイント。ただし正常眼圧でも発症するケースが多い。
- ③ 40歳を過ぎたら定期検査を。早期発見、早期治療で失明を回避できる。

ポイント

なるほどリ 前回の白内障に続き、今回は「緑内障」について教えてください。

高山 眼球の奥には約100万本の神経線維の束「視神経」があります。これは、目で見た映像を脳内の視中枢に届ける伝導路の役割を持っていきます。何らかの原因だと言われています。

Q 緑内障の原因を詳しく教えてください。

A 一般的には眼圧が高くなることで、視神経が圧迫されて障害が起こることが原因だと言われています。

眼球は、その内部を「房水」という液体で膨らませ、一定の眼圧を保つことで形状を維持しています。房水は常に循環しています。

視野狭まり失明の危険も

が、流れが悪くなると眼球内が膨らみ眼圧が高まります。房水の流れが悪くなるのは、房水の排出口にある三層メッシュ構造の部分に徐々に目詰まりを起こすケースが多いのです。これを「開放隅角緑内障」と言い、各種緑内障の中で最多です。

ただし、開放隅角緑内障で気を付けてほしいのは、眼圧が正常なのに視神経に障害を起こす「正常眼圧緑内障」の場合です。日本人の緑内障の約7割にも上り、眼圧検査だけでは発見しにくいのが難点です。生

の検査を定期的を受けて下さい。「眼圧」「眼底」「視野」の三つの検査をして診断します。眼底検査では、元々へこんでいる視神経乳頭部へこみか広がっているようなら緑内障の疑いがあります。このほか、眼底の神経線維の厚みを測るOCT(光干渉断層計)で調べてもらうのも有効でしょう。基準より薄ければ病気の疑いが濃厚になります。



◇高山秀男(たかやま・ひでお) 1943年5月、沼田市生まれ。東京大文学部を経て、34歳で群馬大医学部を卒業し、群馬大眼科入局。87年、JR高崎駅前「高山眼科」開業。93年には高崎市緑町に「高山眼科緑町医院」を開業し、現在は両医院を運営する医療法人の理事長と緑町院長を兼ねる。日本眼科学会専門医。

また、人間は少しぐらい視野の一部が欠けても、もう一方の健康な目がカバーしてなかなか気付かませません。自覚症状がないまま、病気が進行しているケースがほとんどです。予防法もはっきりとは分かっていません。

Q 病気に気付くにはどうしたらいいのですか?

A 40歳を過ぎたら、目

な治療法がなく、進行を抑えて現状維持を図るしかないのです。だから早期発見、早期治療が大事なポイントになるのです。早ければ早いほど失明する可能性はほとんどなくなります。

緑内障になったら、根気強く通院しながらつき合っていかなければならない病気だと覚悟して、治療を続けていくことが大切です。

【まとめ・吉田勝】(協力・県医師会)

師会) 次回は9月5日掲載予定



テーマを募集します

「生活なるほどリ」の掲載テーマを募集しています 〒371-0026 前橋市大手町3の6の4 毎日新聞前橋支局「生活なるほどリ」係。またはメール maebashi@mainichi.co.jp。

2日1時 天国社にて 玉村よねさん87歳 増田治史さん55歳 1ホール。長男貞雄さん 菊地町、20日 上植木本町、20日